ロードヒーティング用熱源機

取扱説明書（保証書付き）

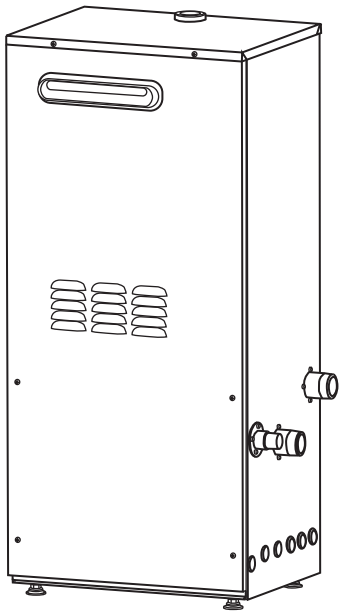
型式名	CPR-E36S(P)　CPR-E36S(C)

品　名	CPR-E36S(P)　CPR-E36S(C)

このたびはガスロードヒーティング用熱源機をお求めいただきまして、ありがとうございます。

●正しく安全にお使いいただくために、ご使用前にこの「取扱説明書」を必ず最初から順番にお読みいただき、よく理解してくださるようお願いいたします。
また、この「取扱説明書」をいつでもすぐに取り出せるところに大切に保管しておいてください。
●この「取扱説明書」に書かれている内容以外ではご使用にならないでください。

取扱説明書を紛失された場合はお近くのパロマまでお問い合わせください。



もくじ

システムの概要 —— 1
各部の名称とはたらき —— 2
必ずお守りください —— 4
ご使用前の準備と確認 —— 9
現在時刻を合わせるには —— 10
自動運転するには —— 11
保温運転するには —— 12
強制運転するには —— 13
運転の開始時刻を予約するには —— 14
運転の終了時刻を予約するには —— 15
不凍液を補給するには —— 16
長期間使用しない場合 —— 17
日常点検とお手入れ —— 18
故障かな?と思ったら —— 20
アフターサービス —— 23
仕様 —— 24
保証書 —— 26

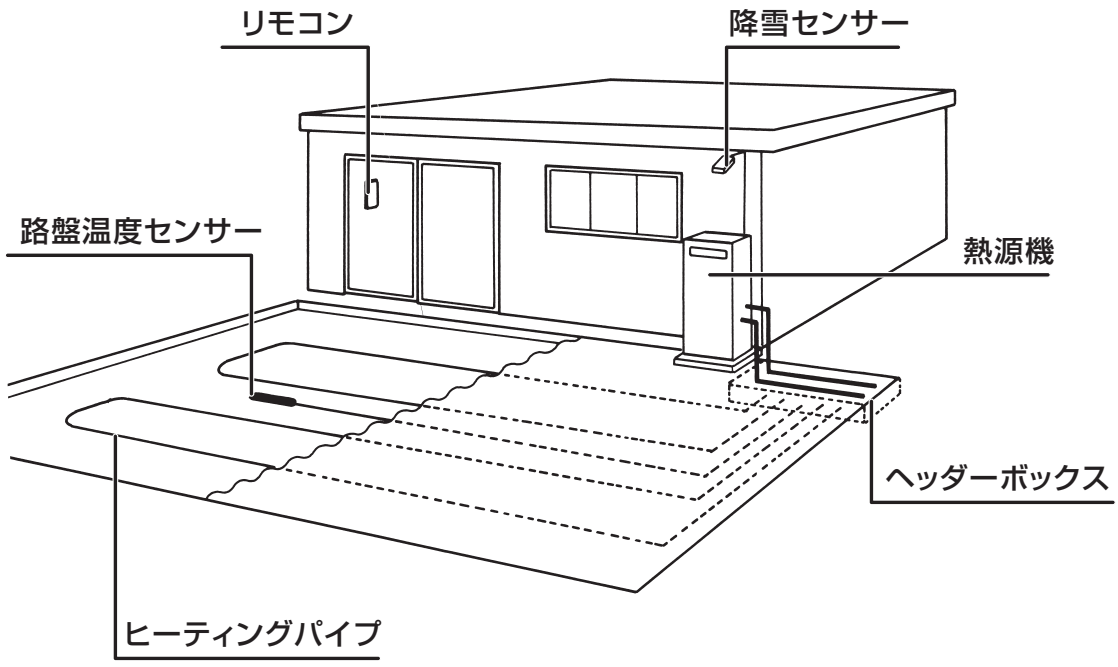
Paloma

システムの概要

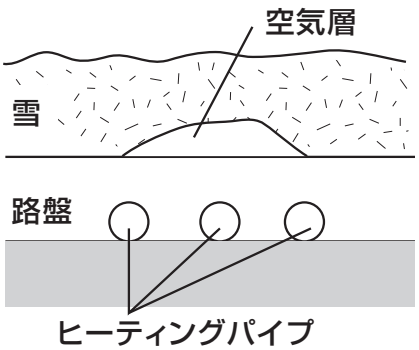
屋外に設置されたガス熱源機により、路盤内に埋設されたヒーティングパイプに温水（不凍液）を循環させることで路面に降ってくる雪を溶かします。（注）

操作は全て屋内のリモコンで行います。タイマー付の強制運転と降雪センサー ・路盤温度センサーによる自動運転が行えます。循環水には不凍液を使用しますので、運転しないときでも凍結の心配はありません。

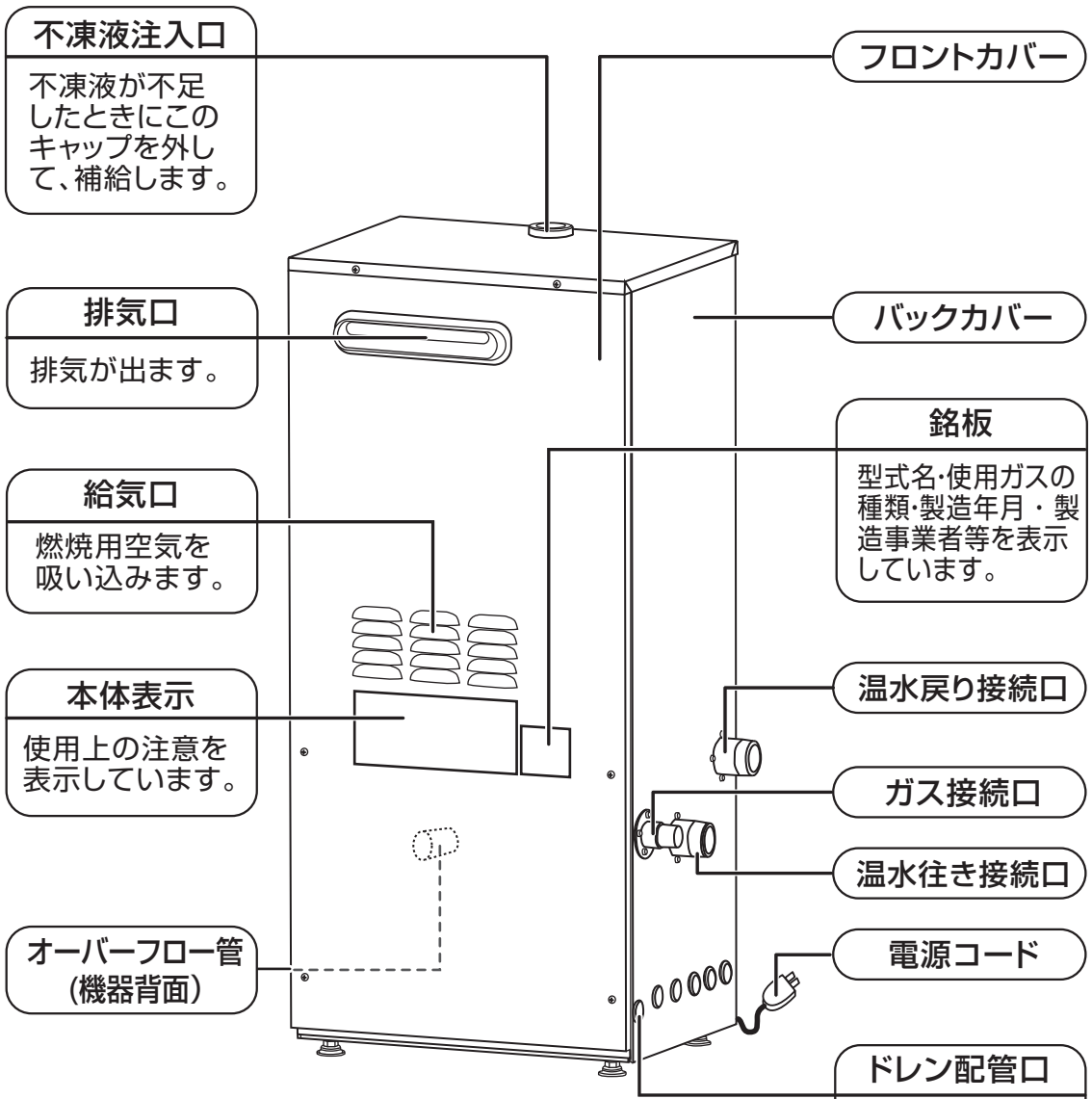
システム概要図



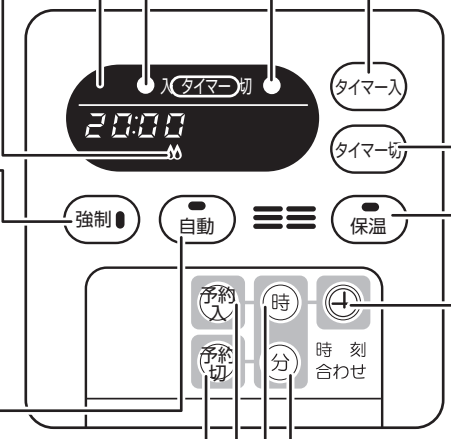
（注）
路面に降ってくる雪を溶かすシステムであり、降り積もってしまった雪を溶かすものではありません。
雪が厚く降り積もった後で運転を開始させても、路面と接触している部分の雪だけが溶けて空気層が生じ、いわゆる「かまくら」状態となって融雪効果がほとんど期待できない場合がありますので注意してください。



各部の名称とはたらき(本体)



各部の名称とはたらき(リモコン)



タイマー入ランプ

タイマー入セット中は点灯しています。

タイマー切ランプ

タイマー切セット中は点灯しています。

表示画面

現在時刻表示やタイマーセット時刻をデジタルで表示します。

タイマー入スイッチ

タイマーで運転を開始させるときに使用します。

燃焼ランプ

燃焼中に点灯します。

タイマー切スイッチ

タイマーで運転を停止させるときに使用します。

強制スイッチ

強制運転を開始するとき、および停止するときに使用します。

保温スイッチ

保温運転を開始するとき、および停止するときに使用します。

自動スイッチ

自動運転を開始するとき、および停止するときに使用します。

時刻合わせスイッチ

現在時刻を設定するときに使用します。

予約切スイッチ

運転停止時刻をセットするときに使用します。

分スイッチ

分(00～59)を調節するときに使用します。

予約入スイッチ

運転開始時刻をセットするときに使用します。

時間スイッチ

時(0～23)を調節するときに使用します。

＊自動運転には、路盤温度センサーと降雪センサーが必要です。

必ずお守りください

安全に正しくお使いいただくために

製品を正しくお使いいただくためや、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにこの取扱説明書および製品への表示では、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

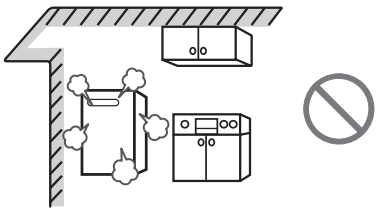
絵表示について次のような意味があります。

⚠危険

屋外式機器

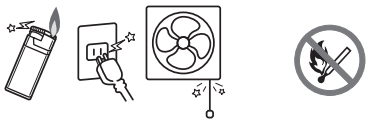
この機器は屋外式のため絶対に屋内に設置しない

→不完全燃焼を起こし、一酸化炭素中毒の原因になります。



ガス漏れ時使用厳禁

ガス漏れに気付いたときはガス事業者（供給業者）の処置が終わるまでの間、絶対に火を付けたり電気器具（換気扇その他）のスイッチの入・切や電源プラグの抜き差しおよび周辺で電話を使用しない



→炎や火花で引火し、爆発事故を起こすことがあります。

①すぐに使用をやめ、ガス栓を閉じる。また、メーターのガス栓も閉じる

②お買い上げの販売店かお近くのガス事業者（供給業者）に連絡する。

⚠警告

機器の設置（および付帯工事）

機器の設置・移動および付帯工事は、必ずお買い上げの販売店に依頼し、安全な位置に正しく設置して使用する

ガス接続（ガス事故防止）

→この機器はネジ接続です。ガス接続工事はお買い上げの販売店またはガス事業者にご依頼ください。

必ずお守りください

⚠警告

機器の銘板に表示してあるガス種(ガスグループ)および電源(電圧・周波数)の適合を確認する

→表示のガス種および電源が一致しないと、不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり、爆発着火でやけどしたり、機器が故障する場合があります。特に転居した場合は必ずガスの種類(電源の種類)が一致しているかどうか確認してください。

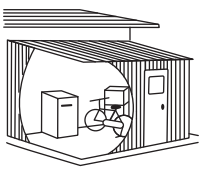
電源はAC100Vを使用する

*わからない場合はお買い上げの販売店かお近くのガス事業者(供給業者)に連絡する

型式名
ガスの種類 (ガスグループ)
ガス消費量
定格電圧　単相100V
定格周波数　50Hz/60Hz
定格消費電力
製造年·月·製造番号
製造事業者名

設置後、機器や排気口を波板やビニール、塗装時に使用した養生シートなどで囲わない

→不完全燃焼による一酸化炭素中毒や火災のおそれがあります。

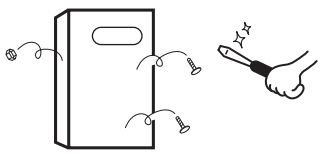


外壁の塗装や増改築、家屋の修繕時など養生シートで機器本体(排気口)を覆う場合は機器を使用しない

→不完全燃焼や一酸化炭素中毒の原因となります。

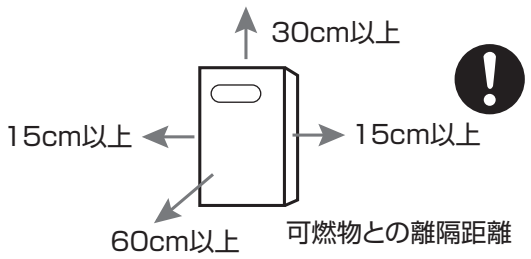
絶対に改造·分解は行わない

→改造·分解は一酸化炭素中毒など思わぬ事故や故障、火災の原因になります。



機器および排気口の周囲には紙や木材など燃えやすいものを置かない

→火災の原因になります。

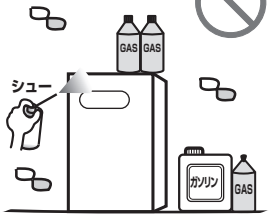


機器の周囲や上にスプレー缶、カセットこんろ用ボンベなどを置かない

→熱でスプレー缶内の圧力が上がり、スプレー缶が爆発するおそれがあります。

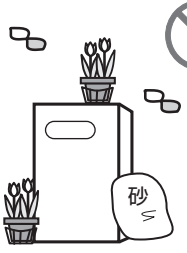
機器の周囲ではスプレー、ガソリン、ベンジンなど引火のおそれのあるものを置いたり使用したりしない

→引火して火災のおそれがあります。



機器本体に無理な力を加えない。機器本体やガスの接続口などに乗らない

→けがや機器の変形によるガス漏れや不完全燃焼、故障のおそれがあります。



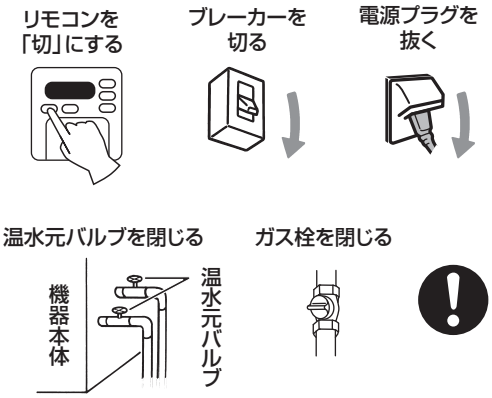
必ずお守りください

⚠警告

異常時の処置

①点火しない場合または使用中に異常な燃焼、臭気、異常音、異常な温度を感じた場合、機器が使用途中で消火してしまった場合はただちに使用を中止しガス栓を閉める
②「故障かな?と思ったら」20～22ページに従い処置する
③上記の処置をしても直らない場合は使用を中止しお買い上げの販売店かお近くのパロマに依頼する
＊地震、火災などの緊急の場合はただちに使用を中止しガス栓を閉める

＊再びお使いになる前に、必ずお買い上げの販売店かお近くのパロマまで点検依頼してください。

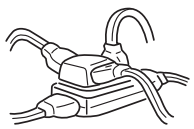


子供を機器の周囲で遊ばせない

→思わぬ事故につながることがあります。
＊特に小さな子供のいる家庭では注意が必要です。

コンセントや配線器具、たこ足配線などで定格を超える使いかたをしない

発熱による火災の原因となります。



電源プラグは根元まで完全に差し込む

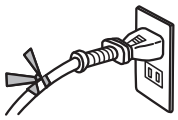
→差し込みがゆるいと感電や発熱による火災の原因になります。

ぬれた手で電源プラグを触らない。すでに雨が降り出している場合は、電源プラグを抜かない

→感電のおそれがあります。

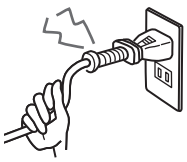
傷んだ電源プラグや電源コード、緩んだコンセントは使わない

→感電や火災の原因になります。



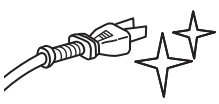
電源コードを引っ張って電源プラグを抜かない

→電源コードを引っ張ると断線して発熱や発火の原因になります。



電源プラグはほこりを定期的にふき取る

→電源プラグにほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。電源プラグを抜き、乾いた布などでふき取ってください。

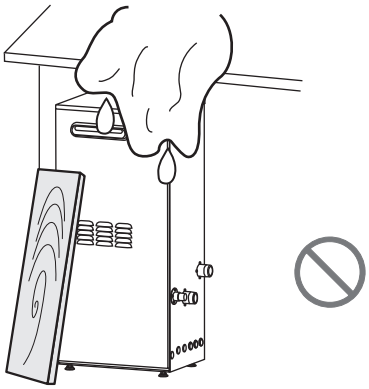


必ずお守りください

⚠警告

本体の給気口・排気口が障害物でふさがれていないことを確かめる

→積雪や屋根からの落雪により給気口・排気口がふさがれないように注意してください。
故障の原因になります。



⚠注意

ロードヒーティング以外の用途には使用しない

→思わぬ事故の原因になることがあります。

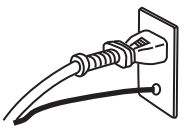
ドレン配管口・オーバーフロー管から排出される水を飲料用、調理用、飼育用などには使用しない

給排気口に指や棒を入れない

→故障やけがの原因となります。

この機器はアースが必要ですのでアースされていることを確認する

→故障や漏電のときに感電するおそれがあります。
アース取付けは販売店にご相談ください。



使用中や使用直後は、機器本体・排気口とその周辺は高温になっているので、手を触れない

→やけどのおそれがあります。

おねがい

補修用性能部品および補助具について

補修用性能部品および補助具は当社の純正部品以外は使わないでください。当社の純正部品以外のものを使用した場合の機器の故障、事故については、当社では責任を負いかねます。

ガス事故防止

使用後はリモコンを「切」にしてください。長時間使用しない場合は、ガス栓も必ず閉めてください。

点火・消火の確認

使用時の点火、使用後の消火を確認してください。
*リモコンの燃焼ランプで確認してください。

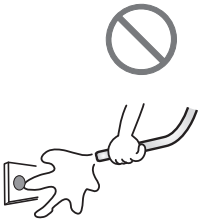
必ずお守りください

おねがい

リモコンの注意

→リモコンは子供がいたずらしないように注意してください。

→リモコンは防水タイプではありません。炊飯器、電気ポットなどの蒸気にも注意してください。
故障の原因になります。



→リモコンは分解したり、乱暴に扱わないでください。

リモコンの設置場所について

→サウナなど室温が55℃を超える場所に取り付けないでください。
故障の原因になります。
（5～55℃の範囲内で使用してください。）

リモコンのスピーカーに耳を近づけて使用しない

→大きな音が出ることがあります。聴覚障害を引き起こすおそれがあります。

雷時の注意

雷が発生し始めたら速やかに運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いてください。
（またはブレーカーを落としてください。）
雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。
雷がやんだ後は、電源プラグが濡れていないことを確認してコンセントに差込み、時刻の再設定を行う。

停電のときは

停電時は運転を停止します。
（ 通電後はあらためて操作してください。）

ドレン配管口

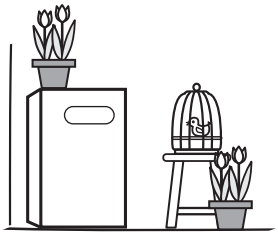
この機器は燃焼中ドレンが発生するため、排水配管が必要です。排水配管工事が正しく行われていることと、先端に排水空間が設けてあることを確認してください。

電源について

凍結予防運転のために電気を使用していますから、緊急のとき以外は電源プラグを抜かないでください。

排気口の周囲

排気口からの排ガスによって過熱されて困るもの（危険物、植物、ペットなど）を置かないでください。増改築などによって、燃焼排ガスが直接建物の外壁や窓・ガラス・網戸・アルミサッシなどに当たらないようにしてください。変色・破損・腐食の原因になります。



増改築時の注意

塀などを増設する場合は、空気の流れが停滞しないように考慮し、点検・修理のための空間を確保してください。機器の周囲の空気の流れが停滞すると、燃焼不良の原因になります。また、塀などと機器との間に十分な空間がないと、点検・修理に支障をきたすおそれがあります。
（機器の点検・修理のための空間については、お買い上げの販売店またはお近くのパロマまでご連絡ください。）

不凍液について
（必ず専用のものをご使用ください）

このシステムの循環水には専用の不凍液を用いています。市販のものをご使用になった場合には、所定の性能を発揮できない場合や、故障の原因になります。
不凍液の補充が必要な場合には、必ずお買い上げの販売店または、お近くのパロマまでご相談ください。

ご使用前の準備と確認

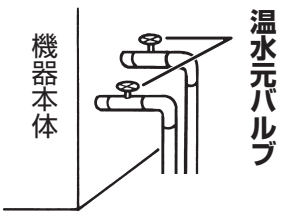
設置状態の確認をする

ご使用前や日常の点検の際にご確認ください。
1.機器は屋外に設置してある
2.機器は堅固に設置してある
3.機器の周囲に可燃物がない
- ●洗濯物等の燃えやすいものがない
- ●排気口からの排ガスにより過熱されて困るもの（危険物、植物、ペット、プラスチック製のとい等）がない

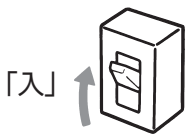
4.機器の排気口の近辺に窓（隣家の窓も含む）がない
5.騒音等で近隣の家に迷惑にならない場所に設置してある
6.機器を波板等で囲んでいない（5ページ参照）
7.車が直接衝突しないように車止めのポールが設置してある
＊以上の設置に関し、ご不明な場合は、施工業者までお問い合わせください。

長年の使用で危険な使用環境にならないように上記の点に配慮していただき、安全にご使用ください。

温水元バルブが全開になっていることを確かめる



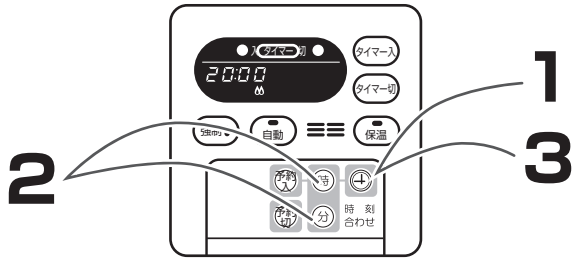
機器用のブレーカーを「入」にする



熱源機の電源プラグをコンセントに差し込む

ガス栓を全開にする

現在時刻を合わせるには



1 リモコンのふたを開け、時刻合わせスイッチを押す

●時刻が表示されます。

2 時間スイッチ・分スイッチで現在の時刻に合わせる

●時間スイッチで時(0～23)を、分スイッチで分(00～59)を設定します。
●押し続けると数字は連続的に変わります。
表示したい時刻の数字に近づいたら1回ずつ押すようにします。

3 時刻合わせスイッチを再度押す

●設定完了後、消灯します。
●これで時刻の設定は終わりました。

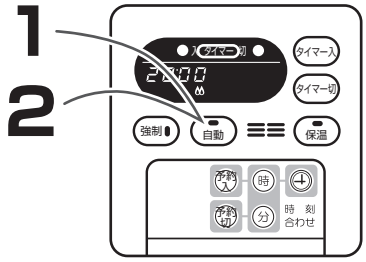
リモコンが「切」の場合は時刻表示は消灯しますが、お好みにより常時点灯に変えることができます。

はじめに **リモコンを「切」にする**

① ⊕ **を押す** ② タイマー切 **を押す** ③ ⊕ **を再度押す**

●停電したり、電源プラグが抜けた後は、再度設定を行ってください。

自動運転するには



雪が降り、路盤温度が下がると運転します。
(保温運転よりも省エネ運転になります。)

1 運転を開始するには、自動スイッチを押す

- ●自動スイッチを押すと同時に自動ランプ(赤)が点灯します。
- ●雪が降り始めて降雪センサーが検知すると自動的に運転を開始します。
- ●雪がやむと降雪センサーが検知して自動的に運転を停止します。

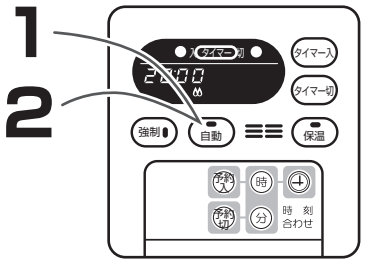
＊雪が降ってきても、路盤の温度が十分に高いときは温度が下がるまで運転を開始しません。
また長時間降り続くような雪の場合は、路盤の温度が必要以上に上がらないように、自動的に運転･停止を繰り返し、省エネ運転を行います。

---

2 運転を停止するには、自動スイッチを再度押す

- ●自動スイッチを押すと同時に自動ランプ(赤)が消灯し、「自動運転」は停止します。

保温運転するには



積雪が多いと予想されるときなど、条件が厳しいときに使用してください。

次のような場合には、十分な融雪効果が得られない場合があります。

（イ）ヒーティング部分が140m²（機器1台あたり）をこえるような広い面積の場合。
（ロ）インターロッキングブロック舗装のように、ヒーティングパイプが深い位置に埋設してある場合。
（ハ）極端に日当たりの悪い場所や強い風の吹き抜ける場所をロードヒーティングしている場合。
（ニ）1～2月の特に寒い日など。

このようなときには、雪が降っていないときに路盤をある程度の温度に保温し、降雪時の立ち上がりを早めるために保温運転を選択してください。

また、保温運転は、雪が降っているときには、自動運転と同じ運転をします。

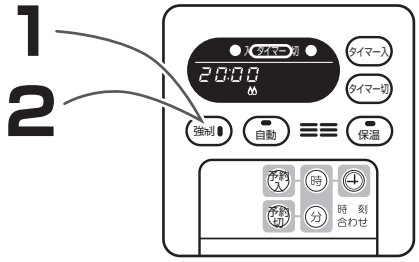
1 運転を開始するには、保温スイッチを押す

- 保温スイッチを押すと同時に保温ランプ（赤）が点灯します。
- 雪が降っていないときでも、路盤が冷え込んでくると自動的に運転･停止を繰り返し、路盤をある程度の温度で保温します。
- 雪が降ってきて降雪センサーが検知すると自動的に運転を開始します。
- 雪がやんで降雪センサーが検知すると自動的に運転を停止します。

2 運転を停止するには、保温スイッチを再度押す

- 保温スイッチを押すと同時に保温ランプ（赤）が消灯し、「保温運転」は停止します。

強制運転するには



強制運転は、路盤の温度や降雪に関係なく、強制的に連続運転を行います。
すでに路面に積雪がある場合などにご使用ください。

1 運転を開始するには、強制スイッチを押す

●強制スイッチを押すと同時に、強制ランプ（赤）が点灯し、運転を開始します。

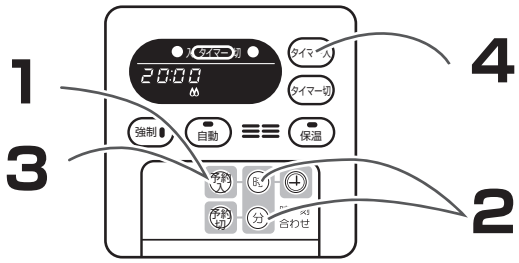
2 運転を停止するには、強制スイッチを再度押す

●強制スイッチを押すと同時に、強制ランプ（赤）が消灯し、運転を停止します。

知っておいてね

●運転の終了時刻を予約していない場合、強制運転を24時間連続で行うと、切り忘れ防止装置が働いて、自動的に運転が停止します。
また、運転の開始時刻を予約している場合は、開始時刻から24時間後に自動的に運転が停止します。
●連続して運転したい場合は、再度強制スイッチを押してください。

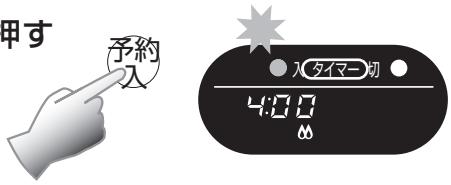
運転の開始時刻を予約するには



タイマー入で一度予約しておくと、解除するまで毎日その時刻に運転を開始します。

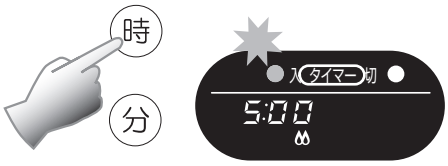
1 リモコンのふたを開け、予約入スイッチを押す

- 前回設定の予約時刻が表示されます。
- タイマー入ランプ(黄)が点滅します。



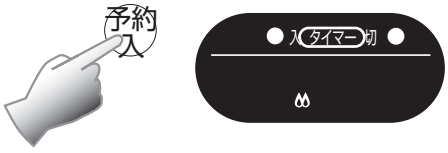
2 時間スイッチ、分スイッチで運転を開始したい時刻に合わせる

- 押し続けると連続して変わります。



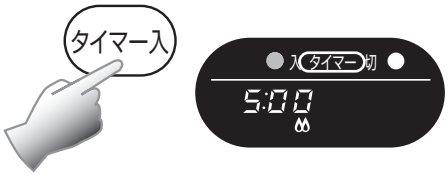
3 再度予約入スイッチを押す

- 設定を記憶します。
- タイマー入ランプ(黄)が消灯します。



4 タイマー入スイッチを押す

- 運転開始時刻が3秒間表示されます。
- タイマー入ランプ(黄)が点灯します。

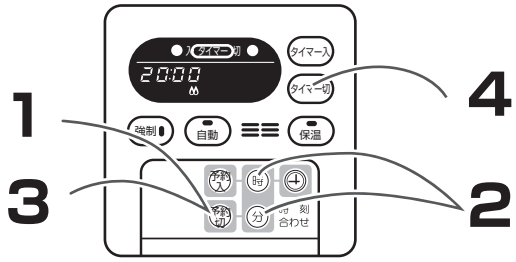


5 強制・自動・保温のうち、いずれかのスイッチを押す

知っておいてね

- 現在時刻が開始の予約時刻をすぎていると、翌日の予約となりますのでご注意ください。
- 予約運転をやめたいときは、タイマー入スイッチを押してタイマー入ランプを消灯させてください。
- 予約時刻に変更がない場合は、**4**、**5** の操作で予約設定ができます。

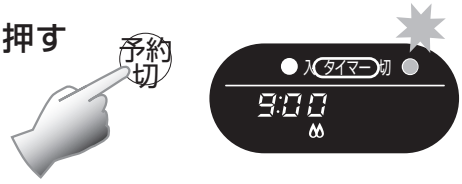
運転の終了時刻を予約するには



タイマー切で一度予約しておくと、解除するまで毎日その時刻に運転を終了します。

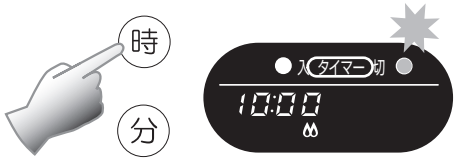
1 リモコンのふたを開け、予約切スイッチを押す

- 前回設定の予約時刻が表示されます。
- タイマー切ランプ(黄)が点滅します。



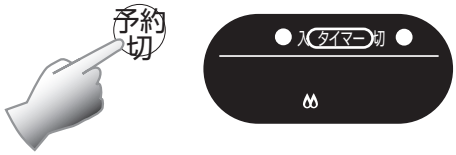
2 時間スイッチ、分スイッチで運転を終了したい時刻に合わせる

- 押し続けると連続して変わります。



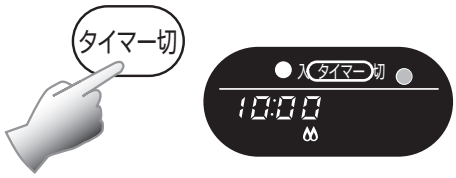
3 再度予約切スイッチを押す

- 設定を記憶します。
- タイマー切ランプ(黄)が消灯します。



4 タイマー切スイッチを押す

- 運転終了時刻が3秒間表示されます。
- タイマー切ランプ(黄)が点灯します。



5 強制・自動・保温のうち、いずれかのスイッチを押す

知っておいてね

- 現在時刻が終了の予約時刻をすぎていると、翌日の予約となりますのでご注意ください。
- 予約運転をやめたいときは、タイマー切スイッチを押してタイマー切ランプを消灯させてください。
- 予約時刻に変更がない場合は、**4** の操作で予約設定ができます。

不凍液を補給するには

エラーコード「04」が表示された場合は、不凍液が減っているので、不凍液の補給をしてください。

- このときリモコンのいずれかの運転スイッチを「入」にしても運転しません。
- 不凍液は蒸発などにより減少します。

⚠注意

運転直後は機器が高温になっているので、冷えてから行う

→やけどのおそれがあります。

1 **リモコンの強制/自動/保温スイッチを「切」にする**

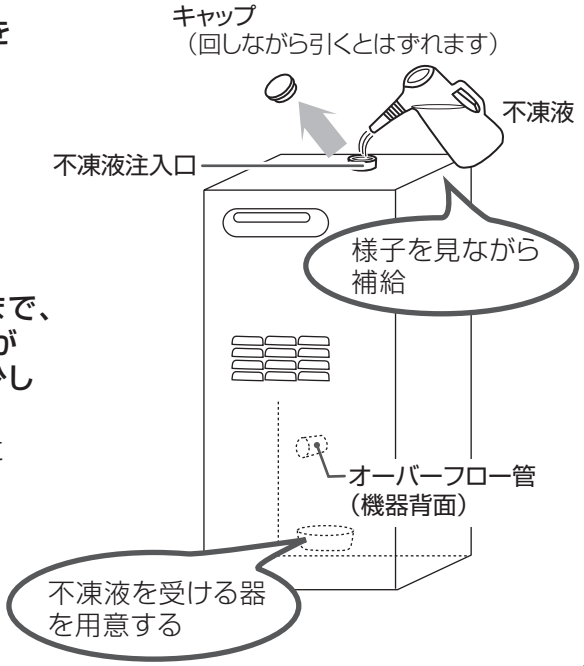
2 **不凍液注入口のキャップをはずす**

不凍液が高温になっていると、湯気が出ることがありますので、冷えてからはずしてください。

3 **エラーコード「04」の表示が消えるまで、またはオーバーフロー管から不凍液があふれるまで、注入口から不凍液を少しずつ補給する**

オーバーフロー管から出た不凍液が土壌に流出しないよう、器などで受けてください。万が一あふれ出た場合は正しく処理してください。

4 **キャップをしっかり取り付ける**



おねがい

- 不凍液は、必ずエチレングリコール系を使用し、3年をめどに入れ替えてください。
- 不凍液は必ず指定品を補給してください。
  その他の不凍液を使用しますと、機器の耐久性が損なわれることがあります。
  詳しくはお買い上げの販売店かお近くのパロマへお問い合わせください。
- 不凍液の減りかたが早かったり、急に減りが早くなった場合は、漏れている可能性があります。
  お買い上げの販売店かお近くのパロマにご連絡ください。

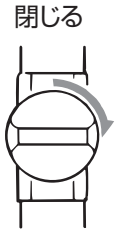
※不凍液は容器に記載してある取扱い上の注意事項をよく読んで使用してください。

- 不凍液は微量でも口に入れないでください。誤飲した場合は、水で口の中を洗浄し、できるだけ吐き出すようにし、すぐに医師の手当を受けてください。
- 目に入った場合は、すぐにきれいな水で15分以上洗眼し、できるだけ早く医師の手当てを受けてください。不凍液は弱アルカリ性ですが、処置が遅れたり、不十分な場合は傷害を生ずるおそれがあります。
- 不凍液が皮膚に付着した場合、付着した衣類や靴などは直ちに脱いで付着した部分を多量のぬるま湯でぬるぬるする感触がなくなるまで十分に洗ってください。痛みが続く場合は、医師の手当てを受けてください。

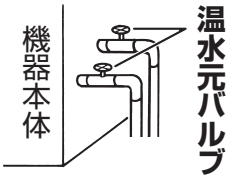
長期間使用しない場合

使用後はガス栓を閉めて

長期間使用しない場合（シーズンオフ）には
ガス栓を閉めてください。

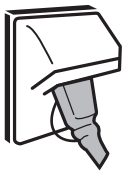


温水元バルブは閉じない



電源コンセントは抜かない

長期間使用しない場合（シーズンオフ）でも
熱源機の電源は切らないでください。
シーズン中はドレンの凍結を凍結予防ヒータ
で防止します。



ドレンの凍結予防について

この機器には、ドレンを中和する中和器が搭載されています。

中和器は凍結予防ヒータによって凍結を防止します。
このため、運転によってドレンが溜まり、かつ熱源機の電源が切られていた場合などは、中和器に溜まったドレンが凍結している可能性があります。
このような場合は、電源を入れた後、24時間以上経過させ、解凍してから運転してください。

おねがい

中和器が凍結すると、解凍に24時間以上必要です。
よって、下記の内容を行ってください。

①熱源機の電源コンセントを抜かない
②やむを得ず冬期間に電源を切る場合は、試運転後に中和器の水抜きを行う（中和器の水抜きは有料になります。）

日常点検とお手入れ

⚠注意

＊機器を安全･快適にお使いいただくために日常の点検･お手入れは定期的に必ず行ってください。そのときは、ガス栓を閉め、リモコンのスイッチを「切」にし、機器が冷えてから行ってください。
＊機器やリモコンを分解すると故障や事故の原因になりますから絶対にしないでください。
＊お手入れの際、指先のけがには十分注意してください。

■点　検

●危険な使用環境になっていませんか
●機器のまわりに燃えやすいものはありませんか
●電源プラグにほこりがたまっていませんか

長年のご使用で危険な使用環境にならないように9ページの「設置状態の確認をする」に従った点検を行っていただき、常に安全な環境作りに心掛けてください。

●不凍液の漏れはありませんか

不凍液漏れをしているときは、すぐに使用を中止し、お買い上げの販売店かお近くのパロマへ連絡してください。

●ガス臭くありませんか

ガス漏れのときは、直ちに使用を中止し、6ページの「異常時の処置」に従ってください。
地震、火災、雪、水害などの後、再びお使いになる前には、必ずお買い上げの販売店かお近くのパロマまで連絡をして、点検を依頼してください。

●異常音はありませんか

異常音がする場合は、お買い上げの販売店かお近くのパロマへ連絡してください。

●機器の外観に異常はありませんか

塗装面にへこみがあるときや機器が変色している場合は、お買い上げの販売店かお近くのパロマに点検を依頼してください。

●給気口･排気口をふさいでいませんか

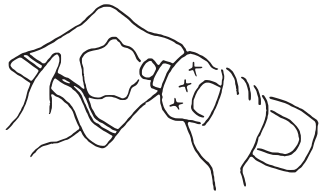
不完全燃焼や異常過熱の原因になります。排気口･ 給気口をふさがないでください。

排気口への積雪や、屋根から落ちた雪により排気口がふさがれると、不完全燃焼の原因となりますので、排気口の点検、除雪を行ってください。屋根から落ちた雪が排気口をふさぐおそれのある場合は最寄りの施工業者などに連絡し、設置場所を変更する必要があります。

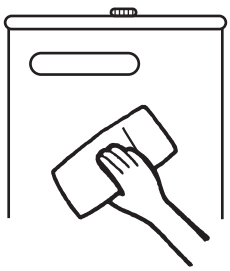
日常点検とお手入れ

■お手入れ

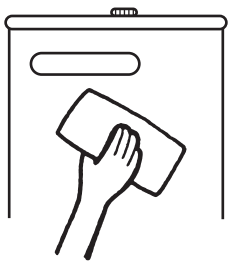
機器外装･リモコン



水気をしぼった布に
台所用中性洗剤を
含ませ、



軽くふき、



乾いた布で洗剤分と
水気を十分ふき取る

おねがい

- ●機器本体をタワシやブラシなどでこすらないでください。
- ●中性洗剤以外の洗剤、シンナー、ベンジン、みがき粉、スチールウールなどは使用しないでください。表面がキズつきます。
  また、レンジクリーナーなどのアルカリ性洗剤は塗装がはがれるおそれがあります。
- ●機器外装のお手入れの際、銘板と本体表示をはがさないでください。
- ●リモコンに水（湯）を直接かけて洗わないでください。
- ●本体やリモコンは子供がいたずらしないように注意してください。
- ●点検･お手入れ後は、機器が正常に作動するか確認してください。
- ●故障または破損したと思われる場合は使用しないでください。
- ●不完全な修理は危険です。万一具合が悪くなって処置に困るような場合はお買い上げの販売店かお近くのパロマにご相談ください。

定期点検のおすすめ

機器のご使用に支障がなくても、定期的（2年に1度程度）にバーナや各部の作動が“正常”かどうか点検をするのが安全で長期間使用していただくための“ひけつ”です。
お買い上げの販売店かお近くのパロマまでご相談のうえお申しつけください。（有償）

故障かな?と思ったら

故障かな?と思ったら、リモコンにエラーコードが表示されていないか確認します。

機器側に表示されるエラーコードは「11」「12」等の2桁の数字が点滅表示されます。

エラーコードが表示されたら

1.リモコンを「切」にする
5分程待ってから、再びリモコンを「入」にする

2.それでもなおエラーコードが表示される場合、
●下記以外のエラーコードが表示される場合は3へ
●下記のエラーコードが表示される場合は、リモコンを「切」にする
下記の処置をした後、再使用する。それでもエラーコードが表示される場合は3へ

3.リモコンを「切」にし、ガス栓を閉めた後、お買い上げの販売店かお近くのパロマまで点検・修理を依頼する
このとき作業を円滑に行うため、エラーコードの表示をお知らせください。

エラーコード	熱源機番号	原　因	処　置
04	0	リザーブタンクの不凍液が不足	不凍液を補給する 補給しても表示が消えない場合は修理を依頼してください
10	1~3	ファン送風量低下	修理を依頼してください
11	1~3	点火不良	ガス栓が開いていることを確認してください。
12	1~3	立ち消え	修理を依頼してください
14	1~3	過熱防止装置作動	修理を依頼してください
15	1~3	沸騰安全装置作動	修理を依頼してください
16	1~3	やけど防止異常	修理を依頼してください
24	0~3	スイッチの故障	修理を依頼してください
26	0	膨張タンクの水位低下	不凍液を補給する 補給しても表示が消えない場合は修理を依頼してください
29	0~3	中和器詰まり	修理を依頼してください
	1~3	内胴温度低下異常	修理を依頼してください
31	1~3	入水サーミスタの異常	修理を依頼してください

故障かな?と思ったら

エラーコード	熱源機番号	原　因	処　置
32	1~3	内胴温サーミスタの異常	修理を依頼してください
	0	路盤温サーミスタの異常	修理を依頼してください
33	0~3	出湯温サーミスタの異常	修理を依頼してください
34	0~3	外気温サーミスタの異常	修理を依頼してください
35	0~3	サーミスタ誤接続	修理を依頼してください
51	1~3	ガス元電磁弁異常	修理を依頼してください
52	1~3	ガス比例弁異常	修理を依頼してください
61	1~3	ファンモータ回転異常	修理を依頼してください
63	0	循環ポンプ異常	修理を依頼してください
64	0	循環ポンプ故障	修理を依頼してください
65	1~3	バイパス弁異常	修理を依頼してください
71	1~3	ガス電磁弁回路異常	修理を依頼してください
72	1~3	フレームロッドの異常	修理を依頼してください
74	0	リモコン通信異常	修理を依頼してください
75	0	熱源機の通信異常	修理を依頼してください
79	1~3	ファン電流検出回路故障	修理を依頼してください
80	1~3	ガス遮断機能異常	修理を依頼してください
82	0~3	ガス種コネクタ異常	修理を依頼してください
90	1~3	排気へいそく異常	排気口をふさぐようなものがあれば取り除いてください
92	1~3	中和器交換警告	修理を依頼してください
93	1~3	中和器交換	修理を依頼してください
99	1~3	燃焼異常	修理を依頼してください

故障かな?と思ったら

エラーコードが表示されていない場合

エラーコードが表示されていない場合は、下記の症状に応じた処置を行ってください。
それでもなお不具合のある場合やお分かりにならない場合は、お買い上げの販売店か
お近くのパロマまでお問い合わせください。

現　　象	原　因　と　処　置
運転しない	●ガス栓が全開になっていない ●停電している(8ページ) ●電源プラグが抜けている ●気温が高い(気温が約2℃以上の場合運転しません。)
排気口から白い煙りが出る	●外気温が低い時に排気ガス中の水蒸気が白く見えますが、故障ではありません。

雪の溶けが悪い

運転はしているが雪の溶けが悪い場合は、保温運転をお試しください。それでも雪の溶けが悪い場合には、路盤温度の設定を変更する必要があります。お買い上げの販売店かお近くのパロマに依頼してください。

アフターサービス

点検・修理を依頼されるときに

「故障かな?と思ったら」を見てもう一度確認していただき、それでも直らないときは、お買い上げの販売店かパロマサービスコールセンターまでご連絡ください。パロマサービスコールセンターは24時間受付いたしますので、ご利用ください。

なお、アフターサービスをお申しつけのときは右記の内容をお知らせください。

- **お氏名・ご住所・電話番号**
- **現象(できるだけ詳しく)**
- **品名・型式名(銘板表示のもの)**
- **ご購入日・ガスグループ**
- **道順(付近の目印など)**

修理についてのお問い合わせは	パロマサービスコールセンター **0120-193-860**	受付時間：24時間修理受付

商品について不明な点はパロマお客様相談室までご連絡ください。

商品についてのお問い合わせは	パロマお客様相談室 **052-824-5145** 〒467-8585　名古屋市瑞穂区桃園町6番23号	受付時間：平日　8：30～18：00 (土・日・祝日・弊社指定定休日を除く)

お近くの下記サービスセンターでのお問い合わせも受付しております。

【各地区のサービスセンター】 受付時間：平日　9：00～18：30（土・日・祝日・弊社指定定休日を除く）

ご相談窓口	住所	TEL	FAX
北海道サービスセンター	〒001-0033 札幌市北区北３３条西７丁目１－１	011-726-2822	011-736-7374
東　北サービスセンター	〒983-0041 仙台市宮城野区南目館２０－１０	022-239-1848	022-238-0838
関　東サービスセンター	〒170-0005 東京都豊島区南大塚3-1-6藤枝ビル6階	03-3986-0860	03-3986-0895
中日本サービスセンター	〒467-8585 名古屋市瑞穂区桃園町６－２３	052-824-5101	052-824-5385
近　畿サービスセンター	〒550-0013 大阪市西区新町3-13-20パロマアワザビル2階	06-6534-6751	06-6534-6755
中四国サービスセンター	〒732-0804 広島市南区西蟹屋３丁目８－１２	082-262-8341	082-263-2400
九　州サービスセンター	〒812-0016 福岡市博多区博多駅南２-９-１３	092-472-0924	092-471-8400

＊住所・電話番号などは変更することがありますのであらかじめご了承願います。

補修用性能部品の保有期間について

補修用性能部品は製造打ち切り後7年間保有しております。

ガスの種類が変わるとき

転居などによりガスの種類が変わるときは、ガス器具の調整が必要となりますので、お買い上げの販売店かお近くのパロマにご連絡ください。
この場合、保証期間内でも有料となります。

製造年月日について

製造年月は本体貼付けの銘板でお確かめください。
銘板の読みかたは、

［例］　10(製造年)・06(製造月)-123456(製造番号)です。

仕　様

品名		CPR-E36S(P)
型式名		CPR-E36S(P)
設置方式		屋外据置型
外形寸法(mm)	本体	高さ1100×幅500×奥行360
	リモコン	高さ120×幅120×奥行24
質量		85kg
定格出力		42.0kW(36,100kcal/h)
点火方式		連続スパーク点火
操作方法		遠隔リモコン操作
温度制御		ガス比例制御+ON･OFF運転
接　続	ガ　ス	R1(25A)
	温　水	R1 1/2(40A)
電　気	消費電力	1台設置：510W　2台設置：650W　3台設置：750W
		常時：9W　　ドレンヒータ作動時：45W
	電源ヒューズ	本体：5A　　ポンプ：20A
	電源コード	VCT(2芯)3m
安全装置		立消え安全装置・過熱防止装置・空だき安全装置 ファン回転数検出装置・漏電ブレーカー・電流ヒューズ ポンプ回転数検出装置・ポンプ空運転防止装置
ポンプ機外揚程 kPa(mH_2O)		1台設置：100(10.2)(流量 70L/分時) 2台設置：100(10.2)(流量 90L/分時) 3台設置：90(9.2)(流量 110L/分時)
タンク容量	セパレータータンク	5L
	リザーブタンク	20L
ケーブル	リモコンコード	2芯ケーブルφ6
標準付属品		固定金具・取扱説明書・工事説明書・アジャスタ固定金具
別売部品		リモコン・リモコンコード・降雪センサー・路盤温度センサー

品　名	都市ガス用/ガス消費量kW(kcal／h)		LPガス用/ ガス消費量kW(kg／h)
	12A	13A	
CPR-E36S(P)	41.2 (35400)	44.2 (38000)	44.2 (3.2)

●本仕様は改良のため、お知らせせずに変更することもあります。

仕　様

品名		CPR-E36S(C)
型式名		CPR-E36S(C)
設置方式		屋外据置型
外形寸法(mm)	本体	高さ1100×幅500×奥行360
	リモコン	高さ120×幅120×奥行24
質量		60kg
定格出力		42.0kW(36,100kcal/h)
点火方式		連続スパーク点火
操作方法		遠隔リモコン操作
温度制御		ガス比例制御+ON·OFF運転
接　続	ガ　ス	Oリングスライド管接続
	温　水	Oリングスライド管接続
電　気	消費電力	58W
		常時：5W　　ドレンヒータ作動時：41W
	電源ヒューズ	本体：5A
	電源コード	——
安全装置		立消え安全装置・過熱防止装置・空だき安全装置 ファン回転数検出装置・漏電ブレーカー・電流ヒューズ
ポンプ機外揚程 kPa(mH_2O)		——
タンク容量	セパレータータンク	——
	リザーブタンク	——
ケーブル	リモコンコード	2芯ケーブルφ6
標準付属品		固定金具・連結部品

品　名	都市ガス用/ガス消費量kW(kcal／h)		LPガス用/ ガス消費量kW(kg／h)
	12A	13A	
CPR-E36S(C)	41.2 (35400)	44.2 (38000)	44.2 (3.2)

●本仕様は改良のため、お知らせせずに変更することもあります。

保 証 書

品　名	ロードヒーティング用熱源機 CPR-E36S(P)　CPR-E36S(C)

このたびは当社製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。この保証書はお客様の正常な設置・使用状態において万一機器本体が故障した場合には、本書の記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

≪無料修理規定≫

1. 取扱説明書、本体貼付けラベル等の注意書きに従った正常な設置・使用状態で故障した場合には、お買い上げの販売店かお近くのパロマが無料修理致します。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店かお近くのパロマにご依頼のうえ、本書をご提示ください。なお、離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には主張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、お近くのパロマへご相談ください。
5. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
（イ）取扱説明書によらないでご使用になったり使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
（ロ）お買い上げ後の取付場所の移動（取付工事依頼の必要な機器の場合）、落下等による故障および損傷
（ハ）公害、火災、水害、地震、落雷、凍結等の天災地変、ねずみ、鳥、くも、昆虫類の侵入、異常電圧（電気部品搭載の機器の場合）、供給事情（燃料・給水等）などによる故障および損傷
（ニ）車輌、船舶への搭載等に使用された場合の故障および損傷
（ホ）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入捺印のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
（ヘ）消耗部品の取替えおよび保守等の費用
（ト）本書の提示がない場合
6. 本書は日本国内においてのみ有効です。
（This warranty is valid only in Japan.）
7. 本書は再発行致しませんので、紛失しないように大切に保管してください。

お客様	お名前　　様	保証期間	お買い上げ　　年　　月　　日から１年
	ご住所　〒	販売店名	店名
			住所
	お電話		電話番号

株式会社 パロマ
〒467-8585　名古屋市瑞穂区桃園町6番23号
TEL 052 (824) 5145

＊この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。なお、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店かお近くのパロマにお問い合わせください。
＊保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくはアフターサービス欄をご覧ください。

修 理 記 録

年　月　日	修 理 内 容	サービス員 ㊞

点検・修理を依頼されるときに

「故障かな?と思ったら」を見てもう一度確認していただき、それでも直らないときは、お買い上げの販売店かパロマサービスコールセンターまでご連絡ください。パロマサービスコールセンターは24時間受付いたしますので、ご利用ください。

なお、アフターサービスをお申しつけのときは
右記の内容をお知らせください。

●お氏名・ご住所・電話番号
●現象（できるだけ詳しく）
●品名・型式名（銘板表示のもの）
●ご購入日・ガスグループ
●道順（付近の目印など）

修理についてのお問い合わせは	パロマサービスコールセンター **0120-193-860**	受付時間：24時間修理受付

Paloma

22. 9. ① 53 17772